

政策 (- 1) 人と豊かな自然が共生している地域社会の実現

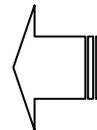
目的

人が豊かな自然との交流を進め、生活の中で潤いややすらぎを得ることのできる社会の実現をめざします。

成果指標と目標値

目標値(平成19年度)

地域の自然環境が良くなった
と思う人の割合 37.0 %



現状値 (平成15年度)

35.3 %

野生動植物の生息・生育環境や身近な自然の保全への取り組み状況をみる指標です。

現状と課題 - 政策の取組方向 -

すべての生き物は自然の中で、さまざまな恵みを受けながら育まれてきました。森林や河川、湖沼や海岸などの自然は、県土の保全、水資源の涵養、水質・大気の浄化など多面的、公益的な機能を有しています。また、多様な動植物の生息する豊かな自然は人の心にやすらぎを与え、人間性を回復させるなど私たちの生活に不可欠なものです。自然とふれあう機会を増やして心の豊かさを実感し、生活をより快適なものにすることが求められています。

政策の目的を達成するため、次の施策を実施します。

- 1 - 1 多様な自然の保全
- 1 - 2 自然とのふれあいの推進

県民のみなさんへ

自然学習施設や自然公園などを利用したり身近な自然と触れることで、自然とのつきあい方や自然の大切さを理解し、自然が与える潤いややすらぎを感じる生活を楽しみましょう。